

業 務 報 告 書

奈良県知事 殿

〇〇年〇月〇日

提出する年月日を記入してください

農事組合法人名 農事組合法人〇〇〇〇
代表理事名 〇〇〇〇
所在地 〇〇市〇〇町〇〇

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの業務及び財産の状況を次のとおり報告します。

事業年度の期間を記入してください

※総会提出議案に報告事項が含まれている場合は、提出議案の添付に代えてよい。

第1 組合法人の運営組織の状況に関する事項

(記載上の注意)

- 1 該当する事項がない場合は、「該当する事項なし」と記載すること。
- 2 各様式中の数値は、該当しない欄は「-」と、端数処理により正数を記載しない欄は「0」と記載すること。
- 3 各様式中、「当期増加」及び「当期減少」は相殺せずに、それぞれ総額で記載すること。

事業期間内に開催した総会について記入してください。
(例えば、事業期間がR3.4.1~R4.3.31であれば、
R3.5月に開催した総会について記入)

1 総会の開催状況

(1) 通常総会

令和3年5月1日開催 (単位：組合員数)

総会日現在組合員数		10
出席組合員数	実際に出席した組合員	8
	代 理 人	1
	書 面	1
	計	10
重要な議事及び議決事項		
第1号議案 令和2年度事業報告及び決算について		
第2号議案 令和3年度事業計画及び予算案について		
第3号議案 任期満了に伴う役員選任について		
第4号議案 定款の一部変更について		
⋮		

(2) 臨時総会

年 月 日開催

総会日現在組合員数		
出席組合員数	実際に出席した組合員	
	代 理 人	
	書 面	
	計	
重要な議事及び議決事項 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;">該当する事項なし</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>		

2 理事会の開催状況

年 月 日	出席理事数	議 事 及 び 議 決 事 項
令和3年 4月5日	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について ・総会の開催について

3 監事の監査状況

年 月 日	主 要 指 摘 事 項
令和3年 4月10日	指摘事項なし

4 組合員の状況

(1) 組合員数

資格区分	前期末	当期加入	当期脱退	当期末
農 民	10	1	—	11 人
組 合	—	—	—	— 組合
現物出資を行った農地保有合理化法人	—	—	—	— 法人
みなし農民	—	—	—	— 人
合 計	10	1	—	11

(2) 出資口数(出資農事組合法人のみ記入)

(単位：口)

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末
農 民	10	1	—	11
組 合	—	—	—	—
現物出資を行った農地保有合理化法人	—	—	—	—
みなし農民	—	—	—	—
合 計	10	1	—	11
摘要 1 出資1口金額 : 10,000円 2 当期末払込済出資総額 : 110,000円				

5 職員の状況

(単位：人)

区 分	前期末	当期増加	当期減少	当 期 末
役 職 員	1	—	—	1
一 般 職 員	1	—	—	1
合 計	2	—	—	2

(記載上の注意)

- 1 職員は、職員兼役員、出向者、休職者及び常勤嘱託(正職員に準ずる身分(労働条件)で、概ね1年以上継続して雇用している者)を含み、被出向者及び臨時的又は季節的雇用者を除いた在籍者について記載すること。
- 2 出向者がいる場合には、その人数を内数で記載すること。
- 3 当期末退職者数は、「当期減少」欄に含めて記載すること。

農事組合法人の理事は、
全員代表権を有しています。

6 役員状況(当期末現在の役員)

区 分			氏 名	就 任 年月日	任期満了 年月日	摘 要
役職名	常勤・非常勤の別	代表権の有無				
理事	常勤	有	〇〇〇〇	R3. 5. 1	R5年総会終了時	職員兼務 事務局長
理事	非常勤	有	〇〇〇〇	R3. 5. 1	R5年総会終了時	
理事	非常勤	有	〇〇〇〇	R3. 5. 1	R5年総会終了時	
監事	非常勤	無	〇〇〇〇	R3. 5. 1	R5年総会終了時	
監事	非常勤	無	〇〇〇〇	R3. 5. 1	R5年総会終了時	
理事	非常勤	有	〇〇〇〇	H30. 5. 1	R2年総会終了時	R3. 5退任
監事	非常勤	無	〇〇〇〇	H30. 5. 1	R2年総会終了時	R3. 5退任 (なお権利義務を有する)

(記載上の注意)

- 1 「摘要」欄は、次の事項を記載すること。
 - (1) 職員と兼務している理事はその旨及び職員としての職制上の地位
 - (2) 実務精通役員(実務に精通し、法人の事業内容につき十分な識見と能力を有する者)である場合にはその旨
 - (3) その他の特記事項
- 2 期末現在においてなお役員の権利義務を有する者についても記載し、その旨を「摘要」欄に記載すること。
- 3 当期中に退任(解任を含む。)があった役員についても表の末尾に記載し、その旨を「摘要」欄に記載すること。

7 1年以上業務を停止している理由（1年以上業務を停止している法人のみ記入）

○台風の被害により業務停止中。設備更新後、再開予定。

○組合員の減少、高齢化により業務停止中。
解散に向けて理事会において協議中。

第2 財務状況に関する事項

- 1 貸借対照表
- 2 損益計算書
- 3 剰余金処分計算書
- 4 損失金処理計算書

1～3（又は4）の書類を添付してください
（別添各計算書（例）を参照）

貸借対照表（例）
（令和3年3月31日現在）

農事組合法人〇〇〇〇〇

（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
【流動資産】a	1,790,000	【流動負債】f	1,040,000
現金及び預金	1,700,000	買掛金	30,000
売掛金	50,000	未払金	10,000
商品	30,000	短期借入金	1,000,000
未収入金	20,000		
貸倒引当金	△ 10,000	【固定負債】g	5,000,000
【固定資産】b(c+d+e)	11,950,000	長期借入金	5,000,000
(有形固定資産)c	10,850,000		
建物	5,000,000	負債合計 h(f+g)	6,040,000
機械及び装置	500,000	純資産の部	
車両運搬具	300,000	【組合員資本】i(j+k)	7,700,000
器具及び備品	50,000	(出資金)j	5,000,000
土地	5,000,000	出資金	5,000,000
(無形固定資産)d	1,000,000	(利益剰余金)k	2,700,000
ソフトウェア	1,000,000	利益準備金	2,500,000
(外部出資その他の資産)e	100,000	当期末処分剰余金	200,000
外部出資	100,000	純資産合計 l(=i)	7,700,000
資産合計(a+b)	13,740,000	負債・純資産合計(h+l)	13,740,000

※科目名等は、各法人の実情に合わせて変更してください。

損益計算書（例）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

農事組合法人〇〇〇〇〇

（単位：円）

科 目	金 額
【売上高】a	15,000,000
売上高	15,000,000
【売上原価】b	10,080,000
期首商品棚卸高	50,000
当期仕入高	10,000,000
期末商品棚卸高	30,000
事業総利益 c (a-b)	4,920,000
【事業管理費】d	2,000,000
給料手当	1,000,000
法定福利費	200,000
福利厚生費	100,000
広告宣伝費	50,000
旅費交通費	10,000
車両費	30,000
通信費	10,000
水道光熱費	500,000
租税公課	5,000
消耗品費	10,000
減価償却費	70,000
貸倒引当金繰入	10,000
雑費	5,000
事業利益 e (c-d)	2,920,000
【事業外収益】f	5,000
受取利息	1,000
受取配当金	3,000
雑収入	1,000
【事業外費用】g	5,000
支払利息	2,000
雑損失	3,000
経常利益 h (e+f-g)	2,920,000
【特別利益】i	10,000
固定資産売却益	10,000
【特別損失】j	20,000
固定資産売却損	20,000
税引前当期利益 k (h+i-j)	2,910,000
法人税等 l	10,000
当期剰余金 m (k-l)	2,900,000
前期繰越剰余金 n	100,000
当期末処分剰余金 o (m+n)	3,000,000

※科目名等は各法人の実情に合わせて変更してください。

剰余金処分計算書（例）

農事組合法人〇〇〇〇〇

（単位：円）

科 目	金 額
当期末処分剰余金 a	3,000,000
当期剰余金	2,900,000
前期繰越剰余金	100,000
剰余金処分量 b	450,000
利益準備金	300,000
出資配当金	150,000
次期繰越剰余金 a-b	2,550,000

※科目名等は、各法人の実情に合わせて変更してください。

損失金処理計算書（例）

農事組合法人〇〇〇〇〇

（単位：円）

科 目	金 額
当期末処理損失金 a	500,000
当期損失金	1,000,000
前期繰越剰余金	500,000
損失金処理額 b	500,000
利益準備金取崩額	500,000
次期繰越損失金 a-b	0

※科目名等は、各法人の実情に合わせて変更してください。